

平成 26 年度

施政並びに予算編成方針

目 次

はじめに	1
平成26年度予算編成の基本方針	2
平成26年度予算の概要	3
平成26年度一般会計予算の歳入について	6
平成26年度一般会計予算の歳出について	9
特別会計	
国民健康保険特別会計	31
後期高齢者医療特別会計	31
介護保険特別会計	32
水道事業会計	32
下水道事業会計	33

平成26年度 施政並びに予算編成方針

はじめに

平成26年3月定例議会において、平成26年度一般会計予算案をはじめ、市政の重要案件をご審議いただくにあたり、私の市政運営に関する基本的な所信を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を願うものであります。

アベノミクスが功を奏し、日本の景気に明るさが見えてまいりました。4月からの消費税率引き上げによる景気の落ち込みが懸念される中、政府は様々な景気対策、成長戦略を打ち出しています。

箕輪町も、従来から推進してまいりました「子育て支援・教育の充実したまちづくり」、「安全安心なまちづくり」を、町民の皆様と協働して積極的に推進することにより、活力あふれるまちづくりを行ってまいります。

乳幼児から高齢者まで、町民の皆様、一人ひとりの幸せな暮らしを基盤とした明るく輝くまちづくりを目指し、「住んでいて良かった」「住んでみたい」まち箕輪、を実現するため、積極的に財源を投入し、予算を編成いたしました。

平成26年度予算編成の基本方針

平成26年度予算は、「コスト・スピード・チェンジ・サービス・チャレンジ」をキーワードに、箕輪町第4次振興計画・基本構想が目指す「人・地域が輝き 創造と活力あふれるまち 箕輪」の実現に向け、より効果的な事業の構築を目指し、安易な前例踏襲ではなく目標達成のために施策を見直し、最大限の努力と知恵を發揮することを基本姿勢とし、「**3つの重点施策**」を示し、編成を進めてまいりました。

3つの重点施策につきましては、まず**第1に「安全安心なまちづくり（セーフコミュニティ）の展開」**を掲げました。

全ての町民が、健やかで元気に暮らすことができる安全安心なまちづくりの取り組みの強化、セーフコミュニティの地域への一層の普及啓発と、町中が一体となった取り組みの推進、そして、災害、犯罪等に強いまちづくりのため、消防、警察等関係行政機関との連携体制の強化を示しました。

第2に「幼児から中学生まで一貫した、ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」を掲げました。

「子育て日本一の町」を目指して、安心して子育てできる環境の充実、小・中学校への独自の教育施策の展開と、教育環境の整備、寺子屋事業など地域全体で支える教育の推進、「ひと味ちがう箕輪の子ども育成」の取り組みを柱とした保育園と小学校の連携を示しました。

第3には、「行財政改革の継続推進による町の体質強化」を掲げました。

人材育成による職員の意識改革と、課長、係長を中心としたマネジメント能力向上による組織力の強化、「少子高齢化を踏まえ、中長期的な視点に立った最適な行政サービスと公共施設等のあり方」の検討を踏まえた行財政改革の推進、既存の枠組みに囚われず新たな歳入を確保するなど、職員の知恵と工夫を活かした取り組みの推進を示しました。

また、予算編成に当たっての3つの基本方針は、箕輪町第4次振興計画実施計画の着実な推進、協働のまちづくりの推進、健全財政の堅持であります。

平成 26 年度予算の概要

「子育て支援・教育の充実したまちづくり」、 「安全安心なまちづくり」を推進する積極予算

平成 26 年度 会計別歳入歳出予算一覧

(単位:千円、%)

会計名		本年度	前年度	比較	増減率
一般会計		8,888,000	8,940,000	△ 52,000	△ 0.6
国民健康保険特別会計	事業勘定	2,349,576	2,196,309	153,267	7.0
	施設勘定	82,006	101,055	△ 19,049	△ 18.9
後期高齢者医療特別会計		237,072	215,403	21,669	10.1
介護保険特別会計		1,784,651	1,732,911	51,740	3.0
小 計		13,341,305	13,185,678	155,627	1.2
水道事業会計	収益的収入	564,500	495,404	69,096	13.9
	収益的支出	666,354	495,404	170,950	34.5
	資本的収入	18,700	25,498	△ 6,798	△ 26.7
	資本的支出	208,390	250,343	△ 41,953	△ 16.8
下水道事業会計	収益的収入	1,152,216	1,157,586	△ 5,370	△ 0.5
	収益的支出	1,152,216	1,157,586	△ 5,370	△ 0.5
	資本的収入	454,844	489,997	△ 35,153	△ 7.2
	資本的支出	866,312	904,057	△ 37,745	△ 4.2
合 計(小計+公営企業会計収益的支出)		15,159,875	14,838,668	321,207	2.2

平成 26 年度一般会計当初予算額は 88 億 8,800 万円となり、25 年度に比べ 5,200 万円、0.6% 減となりました。減の要因としては、東みのわ保育園建設事業費が 5 億 4 千万円減になったことがあげられます。

増の要因は、社会資本整備総合交付金事業費(橋梁長寿命化)が約 1 億 6 千万円増、

町道等の整備など地元区要望を出来る限り実現できるよう**道路舗装補修工事費、町単独道路整備事業費、狭あい道路整備等促進事業を、約3千万円増額**いたしました。その他に、**消防広域化**に伴う伊那消防組合負担金が約1億2,500万円の増、**みのちゃんバスの更新など地域交通の充実**に約4,500万円を新規に計上したこと等が増の要因でございます。

平成26年度の主な事業は、

「子育て支援・教育の充実したまちづくり」のために、

タブレットパソコンを導入した「考える子ども育成事業」の創設と学校教育の充実と質の向上に2,287万円を新規に計上いたしました。

また、運動あそび10周年イベントの実施、パンフレット作成に180万円、病児・病後児保育事業費に平成25年度に比べ大幅増となる、1,300万円を計上しております。

「安全安心なまちづくり」の推進のために、

セーフコミュニティの推進に437万円計上したほか、「安全安心のまちづくり」を定着させるためのセーフコミュニティ推進イベント事業費として新規に153万円計上しております。防犯街灯LED化工事費に引き続き1,812万円計上したほか、新規に保育園街灯LED化工事費を233万円、耐震性貯水槽設置工事費を1,950万円計上しました。

そのほか、みのちゃんバスの更新など地域交通の充実のために、新規に4,572万円、ながた自然公園周辺リニューアル事業費に5,860万円、農業振興・地域おこし協力隊に1,693万円を計上いたしました。

<平成26年度の実質的な予算規模>

平成25年度繰越明許費のうち、平成26年度で実施する事業は、中学校給食施設建設事業が2億9,600万円、北小学校多目的教室・特別教室増築事業が2億8,700万円、農業構造改善施設改修事業（旧留美庵）が6,410万円、子ども・子育て支援新制度電子システム構築等事業が289万6千円であり、合計は6億4,999万6千円となっています。

この事業費を加えると、**平成26年度の実質的な予算規模は95億3,799万6**

千円になり、平成25年度当初予算に比べ、5億9,799万6千円、6.7%増となります。

また、平成25年度の当初予算に繰越しを加えた実質的な予算規模92億2,251万円と比較しても、を約3億1,500万円上回っています。

平成26年度一般会計予算の歳入について

一般会計予算款別一覧表（歳入）

単位：千円、%

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額	構成比	比較	増減率
1. 町税	3,333,700	37.5	3,284,784	36.8	48,916	1.5
2. 地方譲与税	117,000	1.3	117,000	1.3	0	0.0
3. 利子割交付金	6,000	0.1	8,000	0.1	△ 2,000	△ 25.0
4. 配当割交付金	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0.0
5. 株式等譲渡所得割交付金	200	0.0	1,500	0.0	△ 1,300	△ 86.7
6. 地方消費税交付金	312,000	3.5	278,000	3.1	34,000	12.2
8. 自動車取得税交付金	16,000	0.2	25,000	0.3	△ 9,000	△ 36.0
11. 地方特例交付金	15,000	0.2	16,000	0.2	△ 1,000	△ 6.3
12. 地方交付税	1,780,000	20.0	1,800,000	20.1	△ 20,000	△ 1.1
13. 交通安全対策特別交付金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
14. 分担金及び負担金	235,394	2.7	232,783	2.6	2,611	1.1
15. 使用料及び手数料	53,231	0.6	54,508	0.6	△ 1,277	△ 2.3
16. 国庫支出金	734,176	8.3	551,026	6.2	183,150	33.2
17. 県支出金	412,169	4.6	367,569	4.1	44,600	12.1
18. 財産収入	11,625	0.1	12,698	0.1	△ 1,073	△ 8.5
19. 寄附金	1,003	0.0	1,103	0.0	△ 100	△ 9.1
20. 繰入金	273,032	3.1	323,081	3.6	△ 50,049	△ 15.5
21. 繰越金	330,000	3.7	330,000	3.7	0	0.0
22. 諸収入	418,470	4.7	395,348	4.4	23,122	5.8
23. 町債	831,000	9.3	1,133,600	12.7	△ 302,600	△ 26.7
歳入合計	8,888,000	100.0	8,940,000	100.0	△ 52,000	△ 0.6

町税は、国の金融政策、財政政策などの景気対策により経済状況は緩やかに回復の動きがみられますが、生活に好影響が及んでいると実感できるまでには至っていない状況の中、**個人町民税**は、防災・減災のための事業の財源を確保するための臨時措置を含めて、前年度比1.9%の増収を見込みました。**法人町民税**については、企業収益の一部回復傾向を受け、前年度比11.6%の増収を見込みました。

固定資産税については前年度並みを、**町たばこ税**は前年度比4.5%の減収を見込みました。

町税全体では、33億3,370万円と、前年度に比べ4,891万6千円、率では1.5%の増を見込みました。

地方譲与税は、地方揮発油譲与税3,400万円、自動車重量譲与税8,300万円、あわせて1億1,700万円と前年度同額を見込みました。

利子割交付金は、600万円と前年度比200万円の減を見込みました。

配当割交付金は、500万円と前年同額を見込みました。

株式等譲渡所得割交付金は、20万円と前年度比130万円の減を見込みました。

地方消費税交付金は、3億1,200万円と前年度比3,400万円の増を見込みました。

自動車取得税交付金は、1,600万円と前年度比900万円の減を見込みました。

地方特例交付金は、1,500万円と前年度比100万円の減を見込みました。

地方交付税は、17億8千万円、前年度決算見込み額、地方財政計画の状況、税収などの状況を勘案し、前年度比2千万円の減を見込みました。

国庫支出金は、児童手当負担金、自立支援事業費負担金、社会資本整備総合交付金、臨時福祉給付事業補助金、子育て世帯臨時特例給付費補助金など、事業実施に伴う国庫負担金及び国庫補助金、委託金を、あわせて7億3,417万6千円を見込みました。

県支出金は、児童手当県負担金、自立支援事業費県負担金、県知事選挙費委託金などを見込み、4億1,216万9千円を見込みました。

財産収入は、土地建物貸付収入及び基金の運用収入で、1,162万5千円を見込みました。

繰入金は、活力あふれる元気なまちづくりを推進するための積極的な財源として、財政調整基金からの繰入を2億5千万円見込みました。前年度より5千万円減となっております。

繰越金は3億3千万円と前年度と同額を見込みました。

諸収入は、4億1,847万円を見込みました。

町債は、町道の改良・舗装補修工事等に充てる地方道路等整備事業債、緊急防災・減災事業債などを見込みました。

なお、地方交付税の財源不足を地方の起債としてまかなうために発行する**臨時財政対策債**を、前年より1千万円少ない4億6千万円見込んでおります。

町債総額では、8億3,100万円と、前年度より3億260万円減少しました。

平成26年度一般会計予算の歳出について

一般会計の款ごとの一覧は次の表のとおりです。

一般会計予算款別一覧表（歳入）

単位：千円、%

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額	構成比	比較	増減率
1. 議会費	106,023	1.2	107,213	1.2	△ 1,190	△ 1.1
2. 総務費	969,443	10.9	972,188	10.9	△ 2,745	△ 0.3
3. 民生費	2,324,220	26.1	2,786,992	31.2	△ 462,772	△ 16.6
4. 衛生費	1,176,851	13.2	1,082,041	12.1	94,810	8.8
6. 農林水産業費	541,519	6.1	513,648	5.7	27,871	5.4
7. 商工費	530,978	6.0	474,287	5.3	56,691	12.0
8. 土木費	1,108,768	12.5	913,255	10.2	195,513	21.4
9. 消防費	449,530	5.1	329,274	3.7	120,256	36.5
10. 教育費	798,810	9.0	767,375	8.6	31,435	4.1
11. 災害復旧費	4,361	0.0	3,200	0.0	1,161	36.3
12. 公債費	832,497	9.4	945,527	10.6	△ 113,030	△ 12.0
14. 予備費	45,000	0.5	45,000	0.5	0	0.0
歳出合計	8,888,000	100.0	8,940,000	100.0	△ 52,000	△ 0.6

この後は、第4次振興計画に掲げられた**7つの「まちづくりの柱」**に沿って、特別会計で実施する事業も含めて申し上げます。

1 ふれあいを深め、みんなでつくる協働のまちづくり

町民の皆様と協働で取り組んでまいりました安全安心のまちづくり、「セーフコミュニティ」は、平成24年5月12日に国際認証を取得することができました。

平成26年度は、「地域の絆」「協働」「継続」をキーワードに構築してまいりました安全安心の仕組みを全町的に水平展開し、「セーフコミュニティ」を基本とした**協働のまちづくりを推進**してまいります。

また、セーフコミュニティを町民の皆様にも更に理解協力していただくために、**セーフコミュニティ推進イベント事業**を実施いたします。

協働のまちづくりとしては、平成16年度に創設した町税の1%相当を地域に合った活性化事業に利用できる**地域総合活性化事業交付金（1パーセントルール）**、区事務支援金を計上いたしました。また、緊急事案対応分を予備費に留保した形で予算化しました。

平成27年、**箕輪町は町発足60周年**を迎えます。プレ記念イベントを実施する経費を計上いたしました。

まちづくり基本条例の制定に向け、町内の各種団体からご推薦いただいた代表からなる「策定委員会」により、条例案の検討を進めてまいりました。平成26年度、「まちづくりの基本理念」や「町民等の権利と責務」、「町政運営の基本原則」を定めた「箕輪町まちづくり基本条例」（仮称）を制定いたします。

障がい者非常勤職員の報酬を計上し、障がい者雇用を推進してまいります。

外国人の生活支援の一環として、庁舎内に外国人生活支援相談員を配置して、配布文書等の翻訳、来庁者通訳、就学児童生徒及び保護者の通訳など、外国人居住者の皆様へのサービスの向上、快適な箕輪への定住を目指し、庁舎開庁時間中であればいつでも対応できる体制を引き続き実施してまいります。

町民の皆様の生活に密着した**行政関係情報**を、よりタイムリーにわかりやすく、きめ細やかに発信するため、引き続き広報誌「みのわの実」の発行・町ホームページ・音声告知放送・伊那ケーブルテレビによる自主番組の放映や文字情報放送・月1回地域のみのわ新聞へ「広報 箕輪町のすがた」の掲載を行ってまいります。

引き続き、顧問弁護士による**無料法律相談**を継続して実施し、町民の皆様の不安解消の機会を設けます。

<行財政改革の継続推進による町の体質強化>

箕輪町の自治体運営を200人規模で行うことを目標に、**少数精鋭体制の強固な組織**とするため、職員の人材育成と適正な処遇を図り、職場・職場外研修、国・東京都豊島区への派遣研修、ビジネスリーダー養成を目指すワークショップ講座・人材マネジメント研修等への派遣研修を推進してまいります。

平成26年度の組織体制といたしましては、特徴ある農業振興を推進するため、産業振興課に係を新設いたします。また、危機管理・セーフコミュニティ推進室に消防団関連の事務を移管いたします。

平成26年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	セーフコミュニティの推進	4,373
新規	セーフコミュニティ推進イベント事業	1,531
新規	「町発足60周年」プレ記念イベント	1,500
継続	地域総合活性化事業交付金制度の充実 地域活性化のため、協働のまちづくりとして、区が自ら行う事業に対して助成する。(区事務支援金、緊急対応分含む)	43,500
新規	障がい者雇用の推進(非常勤職員採用)	4,608
継続	外国籍住民生活相談業務	1,460
継続	国、豊島区等への職員研修派遣	18,635
継続	地域集会施設建設、改修事業補助金(平成25年度 1,755千円)	3,723
新規	議会中継放送設備の更新	3,089
継続	固定資産税基礎資料整備委託	4,266

2 誰もが健やかに暮らせるぬくもりのあるまちづくり

<健康づくりの推進>

「誰もがいきいき、みんなで支える福祉のまち健康長寿の里 箕輪町」を目指し、健康寿命の延伸に力点を置いた特徴のある健康づくり施策を継続して実施してまいります。

箕輪町の健康づくりの特徴は、コミュニティづくりにあります。10年目を迎えるみのわ健康アカデミーの開講、アカデミーOBとの連携による運動ボランティアの育成、箕輪町食生活改善推進協議会との連携による食育ボランティアの育成等、介護予防拠点施設を活用した健康コミュニティづくりの推進を図ってまいります。

町民の生活習慣の変化と多様化により、高血圧、脂質異常症、糖尿病等の**生活習慣**

病が増加し、これらによる心疾患、脳卒中、慢性腎臓病等の重篤な疾患が発症しています。また、これらの生活習慣病の増加は、国保医療費の増加を生み課題となっています。疾病は予防と早期発見が重要です。このため、若年層の循環器健診対象年齢を30歳代から20～30歳代に拡大し、若年層の健診機会を増やし、早期の生活習慣病予防に取り組むとともに、引き続き、がん検診の無料節目検診、個人負担金の軽減、受診会場や日程等に配慮した検診受診率の向上、生活改善の必要な方への保健師、管理栄養士による保健指導を強化いたします。

予防接種事業は、保健センターでの集団接種から医療機関での**個別接種に移行**いたします。引き続き、乳幼児の感染症予防と健やかな発育のためにBCGなど各種予防接種を実施してまいります。

成人歯科保健事業は、健康・長寿をねらい、定期的な歯科健診により歯の大切さを認識してもらい、生涯現役の健康な体をつくっていくため、20歳から60歳までの10年ごとの節目の歯科健診を無料で実施する**歯科ドック事業**を引き続き実施してまいります。

経済の低迷やストレス社会の中で、心や身体のバランスを崩しやすい状況が生まれています。このため、町民の皆様、心や身体の健康にかかる心配ごとを専用のフリーダイヤルで**365日24時間電話相談できる事業**を引き続き実施するとともに、心や身体の健康づくり講演会による啓発や、こころの健康相談を実施してまいります。

子育て支援のための保健事業としては、妊婦が健診費用の心配をせず、出産までに必要とされる14回の健診、4回の超音波検査及び血液検査等が受診できるように、健診費用を補助する予算を引き続き計上いたしました。

また、妊娠期間中の口腔内の病気や虫歯が、胎児にも影響を及ぼすことに着目し、妊婦が無料で歯科健診を受けられる**妊婦歯科健康診査「プレママ歯^ハッピー事業**」を引き続き実施するため、必要経費を計上しました。

新生児の全戸訪問事業は、保健師、助産師により育児相談等を引き続き実施するとともに、低出生体重児に係る未熟児養育医療費の給付と、該当児及び母親への保健師による訪問事業を引き続き実施してまいります。

子育て情報や子どもの成長記録が残せる**箕輪町オリジナル版の「子育てメモリーブック」**は好評をいただいております、引き続き出産記念品として配布してまいります。

高齢者の健康づくりでは、肺炎球菌による肺炎の予防接種に対する補助を計上いたしました。また、人間ドック・循環器健診の補助を引き続き実施してまいります。

<子育て支援の推進と安心して子育てのできる環境整備>

東みのわ保育園は、地権者、隣接地権者をはじめ地域の皆様のご協力により、平成26年8月に開園の運びとなります。地域の方々に見守られ、ぬくもりのある保育園にしてまいります。

核家族化の進展や社会環境の変化の中で、保護者の期待に応える**保育園運営**を行い、安心して子育てができる町づくりを推進いたします。保育園就園前の子育てに関しては、地域の子育てサークルの活動に対する「**地域子育て支援事業補助金**」事業を継続し、活性化を図ってまいります。

また、**子育て支援センター**は開所以来利用者が増加していますが、更に、子育て世帯のつながりを深めるため、「転入者をお誘いする会」を実施したり、案内看板を増設いたします。

保育に関しては、保育士の専門性を高める研修を充実させるとともに、増加する**長時間保育**や**0歳児保育**のニーズに応えるため、新たに、上古田保育園で長時間保育を、東みのわ保育園では0歳児保育と長時間保育を実施いたします。また、仕事と子育ての両立支援のため、**病児・病後児保育**の経費を増額いたします。

発達支援を必要とする子どもが増加傾向にあるため、保育園に加配保育士25人と発達支援専門員を配置し、一人ひとりの発達を見極めた支援計画に基づく保育と、就学を見据えた保護者支援を推進いたします。

保育施設の整備に関しては、保育室網戸設置、プール安全対策マット設置、母子通園訓練施設のルームエアコン設置を行い、健康に配慮した安全安心の保育を行います。

子育て家庭への経済的支援として、児童手当の支給と、4月からの消費税率引き上げに伴う負担軽減とする「**子育て世帯臨時特例給付事業**」を実施いたします。

新しい子育て制度を盛り込んだ「**子ども・子育て支援法**」が平成27年度から本格施行されます。住民の皆様への周知と、平成25年度に実施した子育てに関するアンケート調査を分析し、新たな事業の必要性を見極めた、「**箕輪町子ども・子育て支援事業計画**」を策定いたします。

<イコール・or・ベターの福祉水準の堅持>

保健・福祉・医療が、他市町村と「イコール・or・ベター」の水準を堅持するため、必要な経費を計上しました。

第2期箕輪町総合福祉計画（計画期間平成24年度～平成26年度）に基づき、地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉について施策展開をしてまいります。

また、**第3期総合福祉計画**を策定し、箕輪町の福祉のあり方を見直してまいります。

福祉医療は、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられる制度を引き続き実施してまいります。

地域福祉では、平成24年度に地域支え合い体制づくり事業として社会福祉協議会に委託した、認知症者を地域で支え合う「**すまいるサポート事業**」に、これまで54事業所及び団体の登録をいただいております。引き続き登録団体の拡充を図ってまいります。

また、「**住民支え合いマップ**」を、災害時のみではなく平常時にも活用できるよう、社会福祉協議会や区と連携をとりながら進めてまいります。

平成23年4月に上伊那8市町村で設置した、認知証の高齢者や知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などを行う「**上伊那成年後見センター**」は、平成25年度はこれまでに1,125件の利用がありました。引き続き認知症や知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などに取り組んでまいります。

高齢者福祉は、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、**地域包括支援センター**を核として、介護予防、認知症予防、生きがい対策など包括的に進めてまいります。また、高齢者の生きがいと健康づくりへの取り組みを支援するため、高齢者の各種活動やシルバー人材センターへの支援を引き続き行います。

障がい者福祉は、平成25年4月から障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正され、新たに難病の方も対象となりました。障がいのある方及び難病の方が自立して日常生活や社会生活を営むことができるよう、引き続き各種福祉サービスや地域社会資源の開発と育成、そして利用者の状況に応じて柔軟に対応できる地域生活支援事業を地域の協力をいただきながら実施してまいります。

児童養護施設「たかずやの里」整備事業への支援を平成26年度から10年間行ってまいります。

平成26年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	みのわ健康アカデミー第10期生 健康ブランド化事業(アカデミーOB会・健康GT)	12,654
拡充	若年層の健診機会の確保、早期の生活習慣病予防を目的に、若年層の循環器健診対象年齢を拡大、30歳代→20～30歳代	1,665
継続	24時間対応健康医療電話相談委託料	3,597
新規	障がい認定調査の実施	1,662
新規	臨時福祉給付事業	48,694
継続	妊婦健康診査事業	21,934
継続	妊婦歯科健診事業(プレママ ^ハ 歯ッピー事業)	340
新規	子育て世帯臨時特例交付金事業	34,237
継続	病児・病後児保育事業(平成25年度 5,600千円)	13,000
新規	保育園施設整備事業(保育室網戸、プール安全対策マット設置)	6,928
新規	母子通園訓練施設ルームエアコン設置事業	2,250
継続	発達支援事業(子どもの成長支援と、就学を見据えた親支援)	842
継続	次世代育成支援事業・養育支援訪問事業委託・ 子育て支援ネットワーク協議会	531
継続	乳幼児健診事業・未熟児養育医療費給付事業	3,130
新規	総合福祉計画の策定	312
継続	町単独福祉医療費給付事業	44,299
新規	児童養護施設「たかずやの里」整備事業負担金	2,400

3 住みやすく人にやさしい都市基盤の整備を目指したまちづくり

公共土木事業関係は、**各区からの強い要望**により、緊急かつ効果のある生活道路を中心に実施いたします。舗装修繕・側溝改修は、町道471号線、町道54号線ほか48路線、道路改良は、町道6号線、町道12号線ほか7路線など予算を増額し、実施いたします。なお、道路の凹凸などの緊急補修は、迅速に対応することに努め、事故の原因とならないように取り組みます。

耕作土などの流出により幅員が狭くなっている箇所などの道路維持や、町民との協働による道路・河川・公園等の維持管理の適正化、早期対応を推進いたします。

社会資本整備総合交付金事業や**県営事業**により、町道508号線道路改良や橋梁長寿命化修繕計画に基づく補修工事を計画的に進めます。

また、住宅地拡大に伴う生活道路の整備として、**狭あい道路整備等促進事業**の予算を大幅に増額し、4mに満たない道路幅員の拡幅整備を引き続き推進いたします。

河川環境整備事業として、町の管理する準用河川を中心に堆積土の除去など計画的に環境整備を進めてまいります。

都市計画事業は、社会状況の変化による都市計画道路の未着手路線の見直し作業を進めるとともに、都市計画図を修正いたします。また、町の素晴らしい風景を残すために**景観計画の策定**を引き続き実施いたします。

上水道事業では、今後も老朽管の布設替工事を計画的に推進いたします。クリプトスポリジウム対策のため、上古田浄水場に紫外線処理装置を設置いたします。

安定した水道水供給を図るため、第5次拡張事業により、中部小学校南側に減圧弁のバイパスを設置いたします。引き続き水道施設の耐震診断を実施し、平成26年度は上古田配水池の耐震診断を実施してまいります。

上水道は重要なライフラインであります。緊急時においても迅速に対応し、町民の皆様が安全で安心して飲むことのできる良質な水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業は、平成23年度より着手した雨水排水計画による天竜川右岸第二排水区（沢・大出地区）の早期供用開始を目指し、平成26年度は下流部分の整備を行います。

また、下水道の接続率向上のため、重点的、積極的な取り組みを行うとともに、未普及箇所等で緊急整備の必要な箇所については、引き続き工事を実施してまいります。

公共、農集の処理場は、耐震診断調査、機能診断調査を実施し、長寿命化計画の策定にも着手いたします。

平成 26 年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	道路等の舗装・側溝等補修（平成 25 年度 72,070 千円） 各区要望による町道 471 号線、町道 54 号線ほか 48 路線	84,900
継続	道路等の改良整備事業（平成 25 年度 46,050 千円） 各区要望による町道 6 号線、町道 12 号線ほか 7 路線の改良工事 費等	52,950
継続	社会資本整備総合交付金事業（平成 25 年度 93,337 千円） 町道 508 号線道路改良、橋梁長寿命化修繕詳細設計業務ほか	252,253
継続	狭あい道路整備等促進事業（平成 25 年度 8,600 千円） 町道 101 号線、町道 127 号線ほか 道路改良工事及び測量設計委託	20,030
継続	交通安全対策施設設置工事（平成 25 年度 2,500 千円） 町道 510 号線、町道 8 号線ほか、町内主要道路区画線設置	5,000
継続	都市計画道路見直し業務、景観計画策定業務	6,026
新規	都市計画図修正業務	8,154
新規	国道バイパス歩道中低木整備業務	3,500
継続	水道事業会計への操出 消火栓工事負担金等	6,971
継続	【上水道事業】配水設備工事事業 配水管布設替等（上古田配水池耐震診断、中原地区、木下地区 等布設替工事、上古田配水池紫外線装置工事ほか）	55,300
継続	【上水道事業】上水道第 5 次拡張事業 配水管布設工事（減圧弁バイパス設置工事）	37,000
継続	下水道事業会計への操出 農業集落排水事業分 239,000 千円 公共下水道事業分 522,000 千円	761,000

継続	【下水道事業】雨水排水計画による排水路設置工事	83,800
継続	【下水道事業】下水道施設長寿命化	15,000
継続	【下水道事業】下水道施設耐震診断	12,320
新規	【下水道事業】農業集落排水施設機能診断	12,000

4 環境にやさしく、安心、安全、快適に暮らせるまちづくり

<環境関係>

快適に暮らせるまちの重要な条件の一つが「環境」です。ごみの減量化・資源化に努め持続可能な循環型社会を構築し、美しい箕輪町を未来の子どもたちにつなげるよう引き続き環境づくりに邁進してまいります。

ごみの減量化と資源化は、住民の皆様にご協力いただいたおかげで、ごみの排出量は減少傾向にあります。こうした中、**生ごみ処理モデル事業**は、平成21年度から木下北城地区で開始し、23年度には八乙女地区、24年度には松島地区で実施してまいりました。そして26年度は大出西部地区に拡大いたします。地域と連携し自発的なごみの減量化・資源化の行動として更に意識の高揚を図ってまいります。また、上伊那広域連合による新ごみ中間処理の広域化施設も計画が進んでおりますが、さらなるごみの減量化に取り組んでまいります。

ごみの不法投棄は、環境の悪化とごみに対する意識の低下につながります。町民一体となって防止に努め、啓発活動を進めてまいります。

地球温暖化を抑制するため、町独自で**住宅用太陽光発電設備に対する補助**を継続し、自然エネルギーの活用を推進してまいります。

地球温暖化防止対策に取り組むことを目的とした環境マネジメントシステム「**エコアクション21**」に引き続き取り組んでまいります。

また、東みのわ保育園では**地中熱利用設備を導入**いたしました。新たな自然エネルギーの有効活用に取り組んでまいります。

<地域交通>

地域交通の充実のため、3つの事業を実施いたします。平成16年から使用してまいりました**みのちゃんバス2台を更新**いたします。みのちゃんバスの運行は、平成23年10月から長寿クラブ会員や高齢者等の運賃を無料としており、年間延べ3万人の皆様にご利用いただいております。更に利便性の向上を図るため、現在、広くご意見を伺いながら運行経路などの見直しを行っております。

JR伊那松島駅については、駅を中心とした町の活性化や飯田線の利用促進を図るため、駅舎の改修を含めた運用を進めてまいります。

中央自動車道の高速バス利用者駐車場を整備し、利便性の向上を図ってまいります。

<防災対策>

「**自助・共助・公助**」の考えを推進するため、防災、減災施策を強力に展開いたします。

大規模災害が発生した時に、まず対応できるのは身近な地域住民組織であることから、町内全15区で組織しました**自主防災組織の充実強化**のための支援を行ってまいります。また、防災体制の充実と地域防災力の向上を目的に**防災士の養成**を継続いたします。

消防広域化に伴い、**防災無線の接続工事**を実施いたします。

避難所用パーテーションの整備、防災ハンドブックを作成し、災害に備えてまいります。

町内の**防犯灯**は、明るい照度で治安の確保を図るとともに、電気使用量の軽減による地球環境への配慮、管理している地区の電気料等の負担軽減をねらい、順次LED化するよう計画的に進めてまいりました。**平成23年度から4年間で8,861万4千円をかけた街路灯、防犯灯のLED化事業は、平成26年度、573基を実施し完了**いたします。

また、**保育園街灯のLED化**を行い、園児と保護者の安全安心を確保します。

<消防関係>

消防体制の充実強化を図るため、**耐震性貯水槽を3基設置**いたします。

引き続き、既設消火栓の専門業者による調整点検を行ってまいります。ホース、消火栓器具箱等購入費補助の継続、消火栓の新設工事を計画的に進めます。

消防力の強化充実を図るため、平成27年4月の広域消防発足に向け、準備を進めてまいります。

平成26年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	生ごみ資源化モデル事業 モデル地区を拡大設定して生ごみの資源化減量化を推進	6,772
継続	ごみ・資源物収集業務 可燃・不燃・資源ごみの計画収集	60,318
継続	廃食用油リサイクル推進事業(BDF精製事業)	2,170
継続	新エネルギー活用推進事業 住宅用太陽光発電の導入者に対する支援、1件80千円限度 (26年度 50件 25年度 50件 24年度 30件 23年度 15件)	4,000
新規	地域交通の充実 みのちゃんバスの更新 42,194千円 伊那松島駅駅舎改修事業 2,530千円 高速バス停駐車場整備工事 1,000千円	45,724
継続	自主防災組織育成補助	1,500
継続	防災士養成補助金	237
継続	住宅・建築物耐震改修事業補助金	3,000
新規	消防広域化に伴う防災無線関係工事	3,240
新規	避難所用パーテーションの整備	862
新規	防災ハンドブックの作成	300
新規	気象観測装置設備追加工事	227

継続	防犯街灯LED化工事（新設 50 基、既存街灯LED化 523 基）	18,120
新規	保育園街灯LED化工事(7 保育園 新設 12 基 交換 13 基)	2,333
継続	消火栓新設取替工事	5,043
継続	消火栓点検調整事業 60 基	648
継続	耐震性貯水槽設置工事 3 基	19,500

5 創造と活力に満ちた産業を育てるまちづくり

<国の農政改革>

農地施策では、農業の担い手への利用集積と集約化を進めるため各県単位に**農地中間管理機構**が設立され、この一部業務は市町村等に委託されます。**米政策**では、直接支払交付金が半減され、平成30年度には国による生産調整目標が撤廃される見通しとなっています。**地域施策**では、農地・水保全管理支払交付金制度が形を変えて多面的機能支払制度へ移行されるなど、大幅に国の農業政策が変わろうとしています。町はこうした動きを注視し、農林業が活力を失わないように先を見据えて対処してまいります。

<農林業の振興>

平成25年度からの繰越事業として、**農業構造改善施設改修事業（旧そば処留美庵）**に着手しております。この改修整備により、「農産物直売所にこりこ」・「のうさんぶつかこうじょ」・「交流施設ぷらプラ」と一体的なハード面の整備が完了します。

これらハード面の資産と周囲に広がる果樹や野菜などの観光農園を活用した事業を展開するため、新たに、**国の地域おこし協力隊制度**を活用し、協力隊員3人を募集・委嘱し、直売所や加工所・飲食施設を拠点に幅広い活動を行っていただくことに取り組みます。また、地域農産物を利用した加工品の販路開拓などの**セールスプロモーション事業、農産物機能性分析**を引き続き実施し、町の農産物を広く発信し、農家の所得向上につなげてまいります。

遊休荒廃地は、農業委員会をはじめとした関係機関との連携協力により、減少方向ではありますが、引き続きその解消に向けて取り組んでまいります。

イベント関係では、3回目となる地産地消イベント「**食でつながる収穫祭**」を引き続き実施します。また、収穫しストックのある赤そば種子を半生麺などに商品化するため、みのわ振興公社に赤そば活用事業交付金を交付いたします。

新規就農者対策として**新規就農総合支援事業**に取り組み、昨年度より4人増の6人の支援を行います。

米の生産調整は、生産数量目標が昨年に比べ面積換算で20ヘクタール減少していますが、上伊那全体で備蓄米等に取り組むことで対応する計画です。近い将来、地方が米の生産量を自主的に調整することが予想されるため、**農産物機能性分析**を行い箕輪の米の特色をつかみブランド米として育ててまいります。

「**人・農地プラン**」は平成23年度に策定し、より良いプランとするため、現在見直し作業を進めております。こうした地域による話し合いにより、農業経営の中心体への農地集積など地域農業のあり方について地域とともに進めてまいります。

土地改良事業関係では、各区から要望があった農業用水路等の改修工事を、特に緊急性の高いものから順次進めるため、予算を大幅に増額いたしました。あわせて、土地改良区が維持管理主体となる水路等の改修工事への助成を行うなど、農業施設の適切な維持管理を図ってまいります。また、平成24年度に東箕輪三区に結成されました地域の手で農地・農業用水や地域環境を守る自主活動組織に、引き続き支援を行ってまいります。この取り組みについては平成26年度からは多面的機能支払という制度に移行することから、全町に展開できるよう働きかけてまいります。

中井筋土地管理組合が維持管理する天竜川頭首工の改修工事は、県事業として平成26年度末には完了予定であります。

林業関係では、森林の多面的機能の維持保育や除間伐に対して**里山整備事業**を活用し、補助金を交付してまいります。特に、“切捨て”から“搬出”へと間伐の実施方法の変更による、間伐材の搬出に要する作業道の開設や作業路網の整備改良活動に対し、助成を行なってまいります。また、林道桑沢線を県補助事業を利用して延伸し、搬出間伐の促進など健全な森林を育成してまいります。

松くい虫の被害は年々北上し、三日町地区北まで被害木が発生しております。被害の拡大をできるだけ食い止めるため、監視体制の強化と早期発見に努め、被害木の早期防除（伐倒くん蒸処理）を実施してまいります。

有害鳥獣被害対策は、平成25年度に鳥獣被害対策実施隊を組織するなど体制の充実を図ってまいりましたが、引き続き町猟友会に対する支援を継続しながら被害防止に努めてまいります。

<商工業の振興>

持続的な経済成長を支援するため、引き続き**企業振興相談員**を配置するとともに、企業の設備投資に対する各種助成制度と制度資金の周知・活用を図り、中小企業や商店の経済活動の支援をまいります。

商工会とは、産業経済振興施策の共有化を図り、「産業・物産展事業」への助成を行うほか、ナゴヤメッセ展示会出展等の各種事業の実施など連携し取り組んでまいります。また、中心市街地商店街の活性化を推進するTMOへの支援を引き続き行うとともに、商工業基盤の更なる安定化と勤労者の福利厚生への支援と利便を図ってまいります。

地域経済の活性化と町民の皆様の居住環境の質的向上をねらい創設された、**個人住宅リフォーム補助制度**は導入4年目となります。下水道の個人住宅つなぎ込みへの利用など、地域経済への波及効果が期待できますので、引き続き実施してまいります。

<観光の振興>

町の農村資源を活用して、グリーンツーリズムによる都市と農村の交流推進のため、「**健康幸せツアー**」を広く発信実施し、都市部からの誘客を図ってまいります。

平成24年度に設立された**上伊那北部観光連絡協議会**は、構成団体である辰野町、箕輪町、南箕輪村の上伊那北部エリアの観光資源を互いに活かしたイベントなどを企画運営し、誘客宣伝活動を行ってまいります。

引き続き、町の貴重な観光資源としての赤そばの里、萱野高原、ながた自然公園、箕輪ダムもみじ湖等の環境整備を進めてまいります。特に、**ながた自然公園は、平成26年度から2年間をかけてリニューアル事業を実施**いたします。平成26年度は公園入り口の顔となるゾーン、緑の少年団の森のトイレ改修やオートキャンプ場の整備と、受付案内機能を集約したビジターセンターの整備を行ってまいります。

2014みのわ祭りは、昨年引き続きみのわ天竜公園と近傍の工専用地区道路を主会場に、町民皆が楽しむことができる祭りとして実施してまいります。

平成 26 年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
新規 継続	農業振興調査関係事業	
	継続:セールスプロモーション事業	2,000 千円
	新規:農業振興・地域おこし協力隊	16,927 千円
	継続:農産物機能性分析(見える化)事業	1,239 千円
	継続:健康グリーンツーリズム事業	3,037 千円
	継続:地産地消イベント開催	619 千円
	継続:商談会出展料等	1,726 千円
継続	人・農地プラン作成事業	790
新規	赤そば活用交付金	6,680
継続	新規就農総合支援事業交付金 6 人 (平成 25 年度 4,500 千円)	9,000
継続	区要望関連水路等改修工事 (平成 25 年度 7,840 千円)	11,601
継続	農地・水保全直接支払交付金事業負担金	1,970
継続	町単独治山事業 (区要望か所対応事業)	2,169
新規	林業再生総合対策事業 (林道桑沢線延伸)	9,900
継続	松くい虫伐倒駆除業務委託	9,980
継続	鳥獣害対策事業(有害鳥獣駆除)活動等謝礼金	6,035
継続	企業振興相談員による相談事業	3,289
継続	県町制度融資保証料補助金	23,000
継続	工場等設置事業補助金	28,000
継続	町商工業振興資金利子補助金	13,000
継続	小規模事業経営支援事業補助金	11,900
継続	ナゴヤメッセ展示会出展負担金	175
継続	TMO 補助金	4,000

継続	住宅リフォーム補助金	10,000
新規	ながた自然公園周辺リニューアル事業	58,595

6 豊かな文化を育み、次世代を担う人材を育てるまちづくり

<就学前の子ども育成>

幼児期の環境が生涯にわたって生きる力に大きな影響を及ぼすことを踏まえ、「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」の柱を、運動あそび、英語あそび、読育、食育の4つに据え、子どもの発達段階にあわせて総合的に取り組んでまいります。

他の自治体に先駆けて実施してまいりました「運動あそび」は10年が経過いたしました。町発足60周年に先駆けて、「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」の取り組みを町内外にPRするイベントを実施し、あわせてパンフレットを作成いたします。

この事業には、平成25年度の国補正予算で創設されました補助金、「地域における少子化対策の強化のための交付金」を充当いたします。

「合同運動あそび」や学校図書館司書との交流事業等に加え、東みのわ保育園と東小学校との「英語あそび」や運動あそびの交流事業を新たに実施し、保育園と小学校との連携を進めてまいります。

また、「いきいき保育創出事業」を継続し、各保育園が創意工夫をこらした特徴ある諸活動を、明るく前向きに展開してまいります。

<学校教育>

「運動あそび」「英語あそび」「読育」「食育」などの施策を行ってきました。

「ひと味ちがう箕輪の子ども」育成のための施策に、「考える子ども育成事業」を新しく加え、取り組んでまいります。

「考える子ども育成事業」は、これまでの「詰め込み式の一斉授業（知識注入型）」から「生徒どうしが協働して問題解決できる力」を育てることを目標としており、平成26年度から3年間にわたり実施いたします。中学校にタブレットパソコンを2クラス分、80台整備し、写真、ビデオ機能に加え、すでに導入済みの電子黒板をあわせて使用する一斉表示機能を活用し、生徒どうしの学びの共有を図り、課題解決につなげてまいります。更に、ICTを活用した「協働型・双方向型の授業」が行える先

生を育成するため、新規に**情報教育活用支援員を配置**いたします。箕輪町独自のICT教材開発のための準備をはじめてまいります。

箕輪中学校は平成26年度から県の「ICTを活用した先駆的モデル的な実践研究パイロット校」として選定される予定であり、ICT教育の基幹校として位置付けられることとなります。

大分県豊後高田市や秋田県能代市では、指導主事など多くの先生方が様々な活動を展開し、教育レベルを向上させております。このように先進的な教育を行っている秋田県能代市への**派遣研修**を行い、教える基盤を強化してまいります。更に、**小中連携を柱に、保小・小中・中高の連携**や、**地域の教育力**を生かした取り組みを進め、学校と地域の連携から信州型コミュニティースクールへの取り組みをはじめてまいります。

英語教育は、平成23年度から小学校5、6年生に英語活動が教育課程に組み込まれ、箕輪町では新たな取り組みとして、小学校全学年に英語学習プログラム（レシピ方式（PLS システム®））を導入し4年目を迎えます。また、中学校2人、小学校3人、保育園1人と外国人指導者体制を拡充し、指導力の向上を図ってまいります。国際感覚豊かな箕輪の子ども育成は、小学校卒業時に外国人と日常会話ができるようになることを目標としています。

読書の推進は、学校図書館に司書を引き続き配置し、読書環境の整備と町図書館と小学校の図書館をつないだネットワークの活用を図りながら推進を図ってまいります。

中学生の学力向上を図るため、数学・英語・国語の補助教員を継続配置する一方、小中学校共に増えつつある介助・支援を必要とする児童・生徒のために介助員・支援員を継続して配置し、きめ細やかな対応に努めます。

平成21年度から町独自で取り組んでまいりました「**学校教育振興交付金**」を拡充し、新たな事業とあわせて効果をあげてまいります。

小中学校における**教育備品の整備**として、理科・算数の教育用品について積極的に補助事業を活用して継続的な整備を図ってまいります。

豊かな発想や思いやりのある心を育むための「**ものづくり教育**」につきましても引き続き取り組んでまいります。

学力向上のための取り組みとして、「**スタディサポート事業**」を通じて、放課後学習等の事業を進めたり、教員の先進地研修、豊島区等との教育連携を計画してまいります。

財政的に有利な政府の経済対策補助金を受けて、平成25年度に予算化し26年度に実施する、「**中学校給食施設建設事業**」と「**北小学校多目的教室・特別教室増築事業**」により、学校施設の整備を充実します。

通学路の安全を確保するため、安全対策工事等を引き続き行ってまいります。

＜生涯学習事業＞

男女共同参画社会の実現に向け、人権に係る問題や女性の社会進出が進まない背景などを、人権尊重のまちづくり審議会、男女共同参画社会推進協議会やパートナーシップみのわの委員の皆様と、現状を検証し把握するとともに“女性の社会参画”という課題に取り組んでまいります。

生涯学習に係る自主事業では、観る目的を共有する皆様が実行委員会を結成して上映会を運営するスローシネマ方式による映画の上映、県民コンサート、一般向けのコンサート等を企画実施するとともに、住民参加型の事業運営の検討をはじめてまいります。

町民一人ひとりが、生涯学習活動や生涯スポーツを通し、健康で連帯感に満ちた豊かな生活を送れるよう、町の文化センターを中心に、町公民館が実施する**町民文化祭・ふきはら大学等**、更に、**社会教育登録団体・地区の公民館が取り組む各種事業**を積極的に展開してまいります。

また、町民の皆様が社会体育施設を安全に安心して利用できるよう、町民体育館玄関前ポーチ修繕工事、上古田グラウンド管理棟の塗装工事等を実施し、体育施設の環境整備を進めてまいります。

公民館事業では、「公民館の新たな価値」を見い出すため、地域の活性化や連帯、絆の醸成につながるような活動や組織のあり方を**公民館運営審議会**で審議いただいております。

今後も、本館と分館が協力連携し、地域の連帯と絆の強化に努めてまいります。

「元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業」は、町民の皆様、特に、多くの高齢者の皆様にご理解いただき、事業が拡大しております。地域通貨**「箕」**は、町内で利用され、地域の活性化に寄与しておりますが、会員の増強、取扱店の加盟促進に取り組み、一層の強化を図ってまいります。

今後も、分館活動と協力連携し、出前講座等に取り組みながら地域の連帯と絆の強化を図ってまいります。

博物館事業では、「**町内まるごと博物館事業**」を中心とした事業を積極的に進め、文化力の更なる向上に努めてまいります。また、民俗資料等を整理・展示する**資料収蔵施設**の整備を行ってまいります。

文化財保護事業では、各種文化財の積極的な保護に努め、天然記念物の樹勢診断・枯枝の除去を実施してまいります。また、「**東山山麓歴史の道事業**」では、歩いて楽しめる史跡ガイドブックの印刷を行ってまいります。

図書館事業では、町の皆様が本に親しみ、知る楽しみを得られるよう、蔵書や資料の充実を図り、本の活用のお手伝いに努めてまいります。

「読育推進」のため、保育園や小中学校と連携して、読育ボランティアの育成に取り組んでまいります。また、将来を見越したデジタル・アーカイブ化事業を進め、「箕輪町誌」の電子書籍化に取り組んでまいります。

文部科学省より委託された**「キャリアデザイン事業」**では、学生の皆様の就業活動をはじめ、町民の皆様の再就職、起業、また、退職後の人生のキャリアアップ支援機能を「知の拠点」である町図書館に持たせることを研究し、関連蔵書の充実強化を図り、新たなサポート窓口が開設できるよう取り組んでまいります。

「なごみ〜な」と命名された世代間交流室は、絵本や昔ばなしの読み聞かせや手遊びなどに成人の皆様が参加し、一緒に交流できる「なごみ空間」として活用してまいります。

また、町にふさわしい**新図書館の建設**に向け、引き続き建設基金を積み立ててまいります。

公民館・郷土博物館・図書館は、「**三館連携事業の推進**」にあたり、それぞれの事業のエッセンスを持ち寄り、町民の皆様に参加・体験していただけるバラエティに富んだ講座を開設してまいります。

婚活事業「ハッピーサポートみのわ」は、町内はもとより近隣自治体とも連携し、企業等にも情報提供を行い、多くの女性に参加していただけるよう講演会や出会いの場を提供してまいります。

フェンシング振興事業が町の活性化につながるように、町民の皆様との住民協働によるまちづくりを進めてまいります。

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」開催に向け、選手団の事前合宿地招致に立候補するなど、“今”から準備を進めてまいります。また、(社)日本フェンシング協会と連携して、「**第7回全国カデ・エペ選手権大会**」を(財)地域活性化センター「スポーツ拠点づくり推進事業」の支援により実施し、あわせて「**第2回全国ジュニア・エペ選手権大会**」を開催し、この地からオリンピック出場を目標に取り組む選手の育成を図ってまいります。

引き続き同競技の振興を“まちづくり”の資源ととらえ、全国に「**フェンシングの町箕輪**」を発信し、町の活性化に努めてまいります。

平成 26 年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	運動あそび推進事業	1,921
新規	「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」記念イベントの開催 ・ パンフレットの作成	1,800
継続	食育推進事業	227
継続	読育推進事業 みのわっ子絵本プレゼント、保育園図書購入費、読育推進事業	1,899
継続	保育園運営費 いきいき保育創出事業	1,000
新規	考える子ども育成事業(タブレットパソコンを導入した新しい教育の実施) タブレットパソコン 80 台 8,222 千円 情報教育活用支援員による、ICTを活用した授業の推進 3,024 千円	11,246
新規	学校教育の充実と質の向上	11,626
継続	スタディサポート事業 放課後学習指導員謝礼 450 千円 学力先進地(秋田県能代市)派遣研修 905 千円 夏休み寺子屋教室 100 千円	1,455
継続	小学校英語学習プログラム(レシピ方式)の導入 共通の教材やカリキュラムを使い、各小学校の英語学習のレベルの 平均化を図り、国際感覚や基礎的コミュニケーション能力を養う。	6,215
拡充	英語指導外国人講師委託 外国人講師(中学校 2 人、小学校 3 人、保育園 1 人を配置)による 英語遊び・授業を実施し、国際感覚を育み、低学年から英語に親しむ 環境づくりを推進する。講師 1 人増 (平成 25 年度 25,515 千円)	31,493
拡充	支援が必要な児童・生徒に対して教育相談員、支援員、支援補助員、介 助員を配置し、安全安心で充実した学校生活を確保する。 平成 26 年度 23 人 平成 25 年度 16 人 平成 24 年度 13 人 (平成 25 年度 32,319 千円)	45,759

拡充	教育振興交付金 子どもの学力向上、教員の指導力向上、魅力ある学校づくりなど、学校の創意工夫を凝らした自立的な取り組みを支援する。 (平成25年度 4,000千円)	5,000
継続	通学路の安全のための道路標示	1,170
継続	元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業 (参加者 2,178人)	7,985
継続	結婚支援事業(ハッピーサポート事業)	1,564
継続	公民館・博物館・図書館 三館連携事業 三館まつり、みのわっ子クラブ自然体験塾、冬遊びイベント、クラフトイベント、みのわ思考塾(仮称)等の実施	4,800
継続	文化センター自主事業委託料 日本の太鼓 in みのわ、スローシネマ方式映画「じんじん」上映、 子ども映画上映等	3,183
継続	フェンシングによるまちづくりの推進 (財)地域活性化センターのスポーツ拠点づくり推進事業の助成を受け、全国フェンシング カデ・エペ選手権大会の開催し、競技の発展と、町の活性化につなげる。	6,500
新規	博物館資料収蔵施設整備 (長岡保育園)	1,751
新規	天然記念物樹勢診断・枯枝の除去	300
継続	キャリアデザイン事業 文部科学省の事業採択を受け、学生の就業や町民の再就職、起業にむけたキャリアアップの支援を町商工会や地域の企業等と連携し、図書館の蔵書も活用した新たなサポート窓口として充実強化を図る。	1,200
継続	町誌デジタルアーカイブ化事業	1,200
継続	箕輪町図書館建設基金の積み立て	5,000
新規	東山山麓史跡ガイドブックの印刷	450

平成26年度の施政並びに予算編成方針の概要と、振興計画に掲げられた7つの政策に沿った主な事業の内容説明は、以上のとおりであります。

— 特 別 会 計 —

❖ 国民健康保険特別会計

箕輪町国民健康保険特別会計は、**事業勘定の予算総額を23億4,957万6千円と定めるもので、前年度比7.0%の増**となっております。

被保険者数は3,525世帯、6,186人とし、前年度より69世帯、44人の増を見込みました。

国民健康保険は、医療保険体制の基盤をなす制度として、地域医療の確保と町民の健康増進に大きく貢献してまいりました。しかし、疾病構造の変化や医療技術の高度化による医療費の増加と、少子高齢化による被保険者数の減少により国民健康保険の財政運営は厳しい状況にあります。こうした中、国は安定した財政運営を図るべく国民健康保険を都道府県単位に一元化する方針を決定し、平成29年度に一元化する準備が進められています。

町の国民健康保険財政も厳しい状況にありますが、引き続き一般会計からの繰り入れは法定基準内を基本とし、国民健康保険税の税率は据え置くこととしました。今後、国の動きを注視しつつ、健全な財政運営を堅持するよう努力してまいります。

また、特定健診・特定保健指導は、平成24年度に見直した特定健康診査等実施計画に基づき健診受診率等の向上に努め、健康維持や生活習慣病の予防・早期治療を推進し医療費の抑制を図ってまいります。

診療施設勘定については、**予算総額を8,200万6千円と定めるもので、前年度比18.9%の減**となっております。

東部診療所所長の交替等により患者数、診療収入の減が見込まれ厳しい診療所運営となっておりますが、地域の医療を支える国保診療所の役割は変わるものではありません。そのため、一般会計から1千万円を繰り入れ、引き続き在宅医療の推進による地域医療の充実と経営の安定化を図ってまいります。

❖ 後期高齢者医療特別会計

箕輪町後期高齢者医療特別会計は、**予算総額を2億3,707万2千円と定めるもので、前年度比10.1%の増**となっております。

後期高齢者医療の保険料は2年に1度改定しており、平成26年度からは新しい保険料率となります。長野県後期高齢者医療広域連合では、医療費の伸び等の要因によ

り、平均で年額2,550円、率にして5.04%の引き上げを決定しています。

被保険者数は前年度とほぼ同数の3,312人を見込みました。被保険者は医療費から被保険者一部負担金を除いた残りの額の10%を保険料として負担いたします。

歳入は、保険料1億8,053万5千円と、低所得者の保険料軽減分及び徴収事務費としての一般会計繰入金が主なものでございます。歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金及び保険料の徴収、窓口業務に係る経費が主なものでございます。

引き続き長野県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、円滑な運営を図ってまいります。

❖介護保険特別会計

箕輪町介護保険特別会計は、**予算総額を17億8,465万1千円と定めるもので、前年度比3%の増**となっております。

第1号被保険者数を6,427人とし、前年度より109人の増を見込んでおります。

年々、介護保険給付費が上昇しており、16億8,850万円余の介護保険給付費を見込み、前年度より5,085万円、3.1%ほど増額となりました。

介護保険第1号被保険者の保険料額は、第5期介護保険事業計画に基づき、平成24年度に3年間の額が算定されており、改定はありません。

介護保険給付準備基金からの繰入れは920万3千円を見込みました。

平成26年度は、第5期介護保険事業計画の最終年度となり、第6期介護保険事業計画（平成27年度から29年度）を策定する年度であります。国は第6期介護保険事業から介護給付のあり方を大きく変換する検討を進めており、要支援1、2の介護予防給付が市町村事業の地域支援事業に移行するなど、市町村負担の増加が懸念されます。

国の動きを注視しつつ、引き続き健全な財政運営に努めるとともに、介護を必要とする方への支援と、介護が必要な状態になることをできるだけ予防する介護予防の両面から、事業の展開を進めてまいります。

❖水道事業会計

箕輪町水道事業会計は**予算総額、収益的収入は5億6,450万円**で、**前年度比13.9%の増**となっております。主な理由は、会計制度改正によるものであります。収益的支出は、6億6,635万4千円で前年度対比34.5%増であり、資産調査

により、不明資産等を特別損失により除去するものが主な理由となっています。

資本的収支の収入では、1,870万円で、前年度対比26.7%の減、支出では、2億839万円で、16.8%の減となります。差し引き不足額の1億8,969万円は、当年度分消費税資本的収支調整額、731万2千円及び過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものであります。

水道料金は、従来の基本水量料金制を廃止し、使用水量の少ない利用者を中心に負担軽減を図るため、引き下げ改定をいたしました。

建設改良事業は、引き続き第5次拡張事業に基づき、減圧弁バイパス設置工事を実施してまいります。また、老朽管の布設替工事を計画的に推進してまいります。

安定経営のための経費の節減に努めるとともに一層の効率的経営に努力し、企業会計としての独立採算の原則を堅持してまいります。

❖ 下水道事業会計

下水道事業は、**収益的収支では、11億5,221万6千円、前年度比0.5%減**となっております。**資本的収支の収入では、4億5,484万4千円、支出では、8億6,631万2千円**となっております。差し引き不足額の4億1,146万8千円は、当年度分消費税資本的収支調整額、678万9千円及び当年度分損益勘定留保資金、4億467万9千円で補てんするものであります。

管渠工事は、ほぼ完了しておりますが、未普及箇所では緊急整備箇所は随時工事を実施してまいりますとともに、接続率の向上に積極的に取り組みます。

安全安心な町づくりに向けて、沢・大出地区の雨水排水路の設置工事を引き続き推進してまいります。

以上、各特別会計予算の編成概要を申し上げます。よろしくご審議ご決定くださるようお願いいたします。